

凸版印刷、製造DXソリューション「NAVINECT®」で
設備保全を支援する「保全運用DX」の提供開始

製造現場の保全活動に求められる機能を揃え、設備の安定稼働・保全レベル向上を実現

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、幅広い業界/業種向けの製造DX支援ソリューション「NAVINECT®(ナビネクト)」を2019年4月より提供しています。

このたび、製造現場の課題に合わせて必要な機能を組み合わせて導入できる「NAVINECT®ラインビルド(※1)」シリーズの新ソリューションとして、生産設備における保全活動の支援に特化した「保全運用DX」の提供を開始します。

「保全運用DX」は、製造現場の保全活動における運営状況に適した複数のラインナップを揃え、PC、タブレット、スマートフォンなどのスマートデバイスを用いて運用します。設備の台帳管理、保全計画の作成、点検の結果報告などの機器管理による「予防保全」、異常報告や予備品の在庫を管理する「事後保全」、保全結果の分析や装置・センサーから収集したデータをもとに異常傾向を捉える「予知保全」に関する機能を提供します。保全活動に求められる機能を網羅的に取り揃えており、製造現場で今必要としている機能から保全運用のDX化を段階的に進めていくことが可能です。



「NAVINECT®ラインビルド」の「保全運用DX」ソリューション 概要図 © TOPPAN INC.

■ 開発の背景

生産活動において設備の維持・管理は大変重要な課題です。設備を長年使い続けると、さまざまな箇所が故障し、性能低下や異常停止などが発生します。これらのトラブルが「納期遅延」や「品質不良」など

を誘発し会社にとって大きな損害となりえます。また近年、少子高齢化などによる製造現場の労働人口減少、とりわけ技術の伝承が必要な「技能人材」が不足している一方で、設備の保全活動に必要なメンテナンス手法などの技術は、紙でのマニュアル管理や経験値として熟練者に属人化されていることが多く若手の作業者に伝承していくことの難しさから保全活動のレベル維持も課題となっています。

このたび、凸版印刷は「NAVINECT®ラインビルド」の新ソリューションとして「保全運用 DX」の提供を開始。生産設備の保全に関わる技術や情報をデジタル化し活用することで、保全活動の平準化や効率化による生産性向上を実現します。

■ 「NAVINECT®ラインビルド」シリーズ、「保全運用 DX」の特長

・豊富なラインナップにより製造現場の保全活動の状況に合わせた導入が可能

保全活動の運営状況に応じた複数のラインナップを取り揃えています。保全作業および異常時の処理管理までの小規模な導入から、予知保全による未然対応や変更管理による徹底した品質管理まで、幅広い要求に対応が可能です。必要な機能のみに予算を費やすことができるため段階的に保全レベルを高め、円滑な DX 推進を支援します。

・作業のヌケモレを防ぎ、質の高い保全活動を実現

定期的実施する点検や交換・給油は初回登録しておくことで保全計画の自動作成が可能です。また、その日に実施すべき作業項目が操作端末に自動的に表示される機能により、作業のヌケモレが防げます。必要な作業を確実に実行することで、設備を正常な状態に保ち、安定した製品品質の維持、設備故障の頻度低減などを実現します。

・保全作業と技術伝承の効率化を実現

保全対象装置の取扱説明書や図面、作業マニュアルを事前に登録しておくことで、必要な時にすぐさま手元のスマートデバイスなどで確認ができるため、保全作業の効率化が図れます。また、現場における保全作業動画をアップロードする機能を活用することで、作業の平準化や匠技術の伝承など、多くの企業が課題として抱える属人化からの脱却を支援します。

■ 価格

・月額利用料:5万円～(税抜)

※初期費用が別途必要となります。

■ 今後の目標

凸版印刷は、「NAVINECT®」を、製造業を中心に様々な企業に対して提供し、2023年までに100社への導入を目指します。

「NAVINECT®ラインビルド」シリーズでは、製造現場の細かな用途に対応したソリューションの開発を進め、複数を組み合わせ利用できる「NAVINECT®」の利便性を追求したソリューションの提供を図っていきます。

凸版印刷は、デジタル化した製造現場の情報をもとに、企業間や消費者までサプライチェーン全体のDXを実現することで、バリューチェーンの最適化に繋がるソリューション・サービスを開発・展開していきます。

■ NAVINECT®について

「NAVINECT®」は顧客ごとにシステム設計から運用まで最適な形にカスタマイズし、製造現場のデジタル化を支援する製造DX支援ソリューションです。凸版印刷がこれまで情報系、生活・産業系、エレクトロニクス系などの幅広い業種の生産品目に対応するため自社の製造現場で開発・運用してきた130ものアプリケーション群とデジタル化のノウハウが活かされています。2019年4月にオンプレミス型の

「NAVINECT®」の提供を開始し、現在は4つの製品を提供しています。

製造現場のDX導入を手軽に支援する「NAVINECT®クラウド」、生産装置や機器のデータをリアルタイムで収集・活用する「NAVINECT®エッジ」、生産ラインのDX化をトータルで支援する「NAVINECT®ラインビルド」、データ分析・レポート化で改善活動を支援する「NAVINECT®インサイト」。網羅性と拡張性のある豊富な製品群により製造現場のデジタル化から拠点間の連携まで製造業全体のDXを推進します。これまで、食品業界をはじめ自動車部品・化学・住宅設備・製薬業界に至るまで、幅広い業界に採用されています。

「NAVINECT®」公式サイト: <https://navinect.jp/>

■ 「Erhoeht-X®(エルヘートクロス)」について

「Erhoeht-X®(エルヘートクロス)」とは、凸版印刷が全社をあげ、社会や企業のデジタル革新を支援するとともに、当社自体のデジタル変革を推進するコンセプトです。



「エルヘート」は、当社創業の原点である当時の最先端印刷技術「エルヘート凸版法」から名付け、語源であるドイツ語の「Erhöhen(エルホーヘン)」には「高める」という意味があります。

凸版印刷は、これまで培ってきた印刷テクノロジーの更なる進化とともに、先進のデジタルテクノロジーと高度なオペレーションノウハウを掛け合わせ、データ活用を機軸としたハイブリッドなDX事業を展開し、社会の持続可能な未来に向けて貢献していきます。

※1 「NAVINECT®ラインビルド」

デジタル化技術を活用して、製造工程の設備導入・再構築・運用サポートまでを製造現場の課題に合わせてカスタマイズして提供する製造DXソリューションです。

「NAVINECT®ラインビルド」紹介サイト: <https://navinect.jp/app/solution-DX/>

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上